

＝＝＝ プログラム ＝＝＝

開会の辞 本谷 聡（JA 北海道厚生連 札幌厚生病院副院長 兼 IBD センター長）

15:00 ～ 15:30 一般演題

座長：寺門 洋平（JA 北海道厚生連札幌厚生病院 消化器内科（胃腸内科））

1. 【ESD 術前に CTC での評価が有用であった憩室内及び回盲弁上に進展する大型病変の 1 例】
森田 理恵（小樽掖済会病院）
2. 【インフリキシマブで手術を回避できた中毒性巨大結腸症合併潰瘍性大腸炎の一例】
中井 康貴（JA 北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター）
3. 【JAK 阻害薬で長期寛解維持に至った D2T 潰瘍性大腸炎の一例】
本谷 聡（JA 北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター）

15:30 ～ 16:15 アフタヌーンセミナー 1

（共催：持田製薬株式会社）

「バイオマーカーにより炎症性腸疾患を”見える化”する」

座長：桂田 武彦（北海道大学病院 光学医療診療部）

演者：前本 篤男（札幌東徳洲会病院 炎症性腸疾患センター）

16:15 ～ 17:00 アフタヌーンセミナー 2

（共催：ヤンセンファーマ株式会社）

「大腸内視鏡治療の最前線 UCAN を含めて」

座長：吉井 新二（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座）

演者：前畑 忠輝（聖マリアンナ医科大学 消化器内科学）

17:00 ～ 17:55 イブニングセミナー

（共催：日本化薬株式会社）

「大腸「前癌病変」の最前線」

座長：勝木 伸一（小樽掖済会病院 消化器内科 兼 消化器病センター）

演者：市原 真（札幌厚生病院 病理診断科）

閉会の辞 本谷 聡（JA 北海道厚生連 札幌厚生病院副院長 兼 IBD センター長）